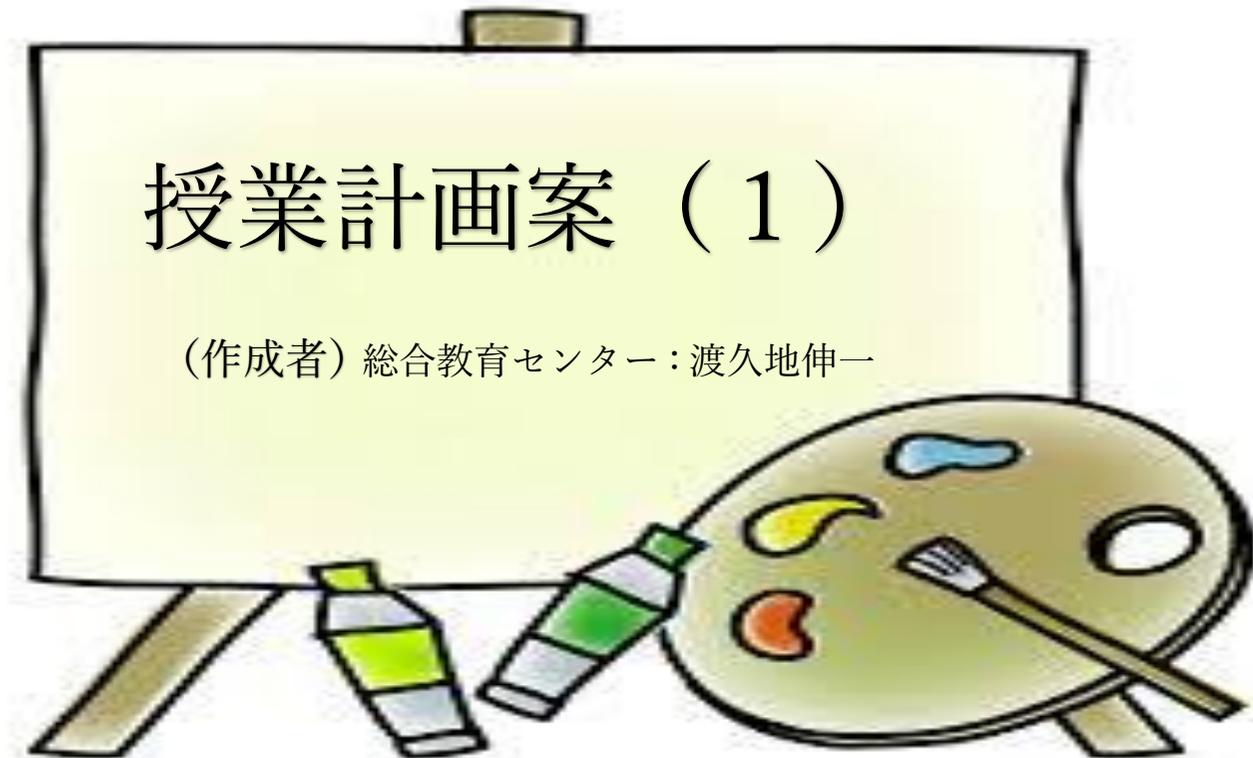


美術科における「授業実践例」

～「デッサン」編～

授業計画案（１）

（作成者）総合教育センター：渡久地伸一



県立総合教育センター
研究主事 渡久地 伸一

授業計画書（事例）1 - 1

<p>題材名（2・3年） 「想像を広げ表そう」 ～デッサン（素描）～ （表現と鑑賞） （2時間）</p>	<p>設定理由（教師の思い）</p> <p>① 造形的な視点で観たり感じたり、想像し描いたり、鑑賞したりすることで、見方・感じ方を深める。</p> <p>② 描く対象物の「持ち主」の心情や意図することを感性や想像力を働かせながら、絵や文字で表することで新たな意味や価値をつくりだす。</p>	<p>身に付けてほしいこと(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目に見えない「対象物」を触感を手がかりに、ものの形や色などの特徴を想像力を働かせながら表現することができる。 ・自分の思いや考えを他者へ伝えることができる。 ・他者の意見や考え、思いから自分なりの新たな意味や価値をつくりだすことができる。 		
<p>学 習 目 標</p>	<p>(1)知識・技能</p>	<p>・触感を手がかりに造形的な視点で「対象物」全体のイメージを捉えることを理解している。</p>		
	<p>(2)思考・判断 ・表現</p>	<p>・対象から感じ取った形や色、量、材質感などの特徴を想像したことを基に主題を生み出し、創造的に表現しようと工夫している。</p> <p>・作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>		
	<p>(3)主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>・条件を踏まえて、意欲的に表現活動や鑑賞活動ができる。</p>		
	<p>豊かな心・人間性 ・見方考え方</p>	<p>他者の心情や意図することを考え表現することで創造活動の喜びを感じようとしている。</p>		
<p>目標</p>	<p>身に付けるためのてだて 共通事項の手だて（共通）</p>		<p>評価方法</p>	<p>評価規準（B）（おおむね満足できる）</p>
<p>(1) 知識 ・ 技能</p>	<p>・画面構成の工夫 ・影（明暗）をつけたり、色をつけて表現してもよい。</p>		<p>・制作後作品を観る</p>	<p>・形の取り方や影（明暗）の表し方など工夫や表現したい意図が感じられる。</p>
<p>(2) 思考 ・ 判断 ・ 表現</p>	<p>・「対象物」と「持ち主」の関連性を想像させる。 ・想像の中で物語や「持ち主」の心情、思いなどを考える。 ・他の生徒の作品からものの捉え方や表し方、全体のイメージや作風、などを読み取れる</p>		<p>・制作後作品を観る ・ワークシートの記入後確認する</p>	<p>・対象物の画面への取り入れ方（構図）について意味を考えて決めている。 ・他の作品から意味を読み取ろうとしている。</p>
<p>(3) 主体的 に学習 に取り組む 態度</p>	<p>・条件の説明を丁寧に行うことで、課題に向かう態度を育成する。 ・制作時間を明確にすることで時間内の作業をめざす。</p>		<p>・行動観察 ・発言やワークシートの記入後確認する</p>	<p>・見通しを立て調整しながら活動しようとしている。 ・鑑賞時も静かに活動している</p>
<p>この授業を通して身に付けたいこと（豊かな心・人間性） （感性・思いやりなどよい点・可能性） とその身に付けるためのてだてと見取りの方法（個人内評価）</p>		<p>・目に見えない「対象物」を触感を手がかりに、想像し描きながら自己表現することで、創造の喜びや表現、その意図や考え方を深める。</p> <p>・持ち主の心情や思いを想像することで、ものの見方や考え方、他者理解を深める。</p>		

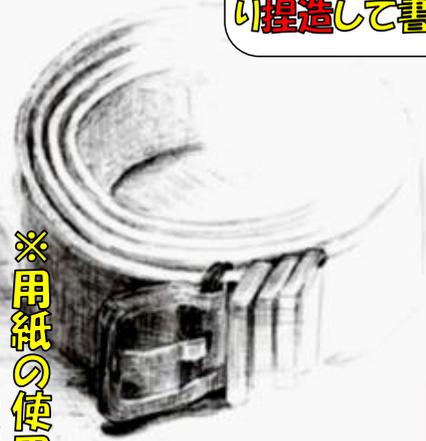
授業展開（案） 1 - 2

時間	教師の動き	評価・ 注意事項	生徒の動き
1 時間目 導入 (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> 注意：中身を誰にも見せないように促す。 袋に入った「対象物」を全生徒分回収する。 めあての提示「伝え合うことから・・・」 本時の課題、条件を説明 A4 サイズの白紙を配布 	<ul style="list-style-type: none"> 聞く態度（静かに聞く） 	<ul style="list-style-type: none"> 持参してきた「対象物」を袋に入れ、準備する。（注意：中身を誰にも見せない） 袋に入った「対象物」を教師へ提出する。 本時のめあてを確認 (各自ワークシートに記入する)
展開 (30 分)	<ul style="list-style-type: none"> 指示：制作時間 (30 分) ↓ ※机間指導 (アドバイス)・声かけ 	<p style="text-align: center;">態</p> <p style="text-align: center;">思考</p> <p style="text-align: center;">知技</p> <ul style="list-style-type: none"> 静かに「表現活動」を行う 個人内評価 (机間指導) 	<ul style="list-style-type: none"> 制作時間 (30 分) ↓
振り返り (5 分)	<ul style="list-style-type: none"> 指示：ワークシートに本時の振り返りを記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 静かに「振り返り」を行う (※2～3名発表) 聞く態度 (静かに聞く) 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに本時の振り返りを記入する。
片付け (5 分)	<p>次回予告 (教科書・ファイル・筆記用具持参)</p>	<p>次回予告 (教科書・ファイル・筆記用具持参)</p>	<p>次回予告 (教科書・ファイル・筆記用具持参)</p>
2 時間目 導入 (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> 前時の作品を配布する。 めあての提示「伝え合うことから・・・」 本時の課題、鑑賞するマナーや条件を説明 	<ul style="list-style-type: none"> 聞く態度 (静かに聞く) 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の作品を受け取る 本時のめあてを確認 (各自ワークシートに記入する)
展開 (30 分)	<ul style="list-style-type: none"> 「鑑賞活動」 ※各グループ (1名×3分程度) 6名×3分=18分 グループ内で発表する 発表を聞いて感じたことや思ったことなどを付箋紙に記入させる→発表者の作品に付箋紙を貼る 	<p style="text-align: center;">態</p> <p style="text-align: center;">思考</p> <p style="text-align: center;">知技</p> <ul style="list-style-type: none"> 静かに聞く ↓ 作品紹介時は表現意図とすることをしっかり伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞するマナーや条件を確認 鑑賞時間 (30 分) ※付箋紙によるコメント (感想) 記入 ↓ 周囲からの付箋紙を受け取り作品に貼り付ける ↓ 他者の意見について考える 見方、感じ方を深める
振り返り (5 分)	<ul style="list-style-type: none"> 時間が余れば・・・ 各グループで代表 1 名ずつ全体で発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート記入後に確認す 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに本時の振り返りを記入する。
片付け (5 分)	<ul style="list-style-type: none"> 袋に入った「対象物」を生徒へ返却する。 <p>次回予告 (教科書・ファイル・筆記用具持参)</p>	<p>次回予告 (教科書・ファイル・筆記用具持参)</p>	<p>次回予告 (教科書・ファイル・筆記用具持参)</p>

参考例①

- ①袋の中を見てはいけません
- ②袋の中身を手の感触だけに
なぐ何度も確認していきましょう。

※用紙の使用は、
たて・横自由



視覚のない状況で描くことで、
モチーフの持ち主の心情、人柄・
「物語」「エピソード」など想像した
い捏造して書いて下さい。



かつて毎日、腕に通して
あらゆる時と共に過ごしたけれど、
時を過ごした皮の風合いは
自身の生きてきた時間をもの。

参考例①

モチーフをどの視点で捉えるか？



「視覚」
何が観える？
どんな形・色
作者の心情

「味覚」
どんな味が
しそうか？

「嗅覚」
どんな
匂い・香りを
感じるか？

「聴覚」
何が聞こえる？
作品から・・・
鳥のさえずり

「触覚」
どんな肌ざわり
形・表面の感じ

五感を働かせた
見方・感じ方
(考え方)

「手の表情を描こう」 手の形や色から感情を考えながら描く。
作品に題名をつけ、理由も考えよう！

- ①手のポーズの意味を考える
- ②表現したい表情を考える
- ③着色可(表現の意図を考える)



「考える手」
・これから何を始めたいかと
考える・・・
さあ-どうしようと悩む
いたささも感じる
とにかくやるぞ-と意気込む

参考例②



授業計画書(授業デザイン)

題材名 (年) 「 」 (時間)	設定理由 (教師の思い)	身に付けてほしいこと(具体的に)	
学 習 目 標	(1)知識・技能		
	(2)思考・判断 ・表現		
	(3)主体的に学習 に取り組む態 度		
目標	身に付けさせるための手だて・共通事項の手だて (共通)	評価方法	評価規準 (B) (おおむね満足できる)
(1) 知識 ・ 技能			
(2) 思考 判断 表現			
(3) 主体的 に学習 に取り組 む態 度			
「身につける力」の評価の場面と 見取りの方法 (感性・思いやりなどよい点・可能性)			

